

パソコン教室の窓から(68)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち(Cnet) 久保 裕

## Word で写真俳句をつくろう

写真俳句とは、写真と俳句、川柳など五七五の十七音から成る日本語の定型詩を組み合わせた新しい表現世界で、全国にたくさんの愛好者がいます。写真がスマホで気軽に撮れるようになり、パソコンで写真の上に五七五の詩句をテキストにして挿入することで、簡単に写真俳句が出来るようになりました。

写真は、言葉では表せない沢山の情報が含まれています。写真を見て一句、俳句を詠むというようなことがあります。俳句は季語を主に五七五の十七音で、四季折々の自然や生活を描きます。写真俳句はそのふたつを組み合わせることで、俳句のイメージを広げます。

写真俳句連絡協議会名誉顧問の作家森村誠一は、「ルールがないのが写真俳句のルールのようなもの。写真俳句は生活の縮図ですから無季語でも構いません。写真に季語を語らせてもけっこうです。句材をカメラで撮影し、後で俳句を作っても良いし、俳句が先にできて、それに合う写真を探してもいいんです」といわれています。

ここで Cnet 会員山中繁さんがお孫さん(高1)と合作された写真俳句の作り方を紹介します。右の一番上の写真は、パソコンに取り込んだ自宅で撮影された福寿草です。俳句は、

「福寿草 朝日をあびて 背くらべ」です。

まず、Word の新規白紙の文章を開きます。〈レイアウト〉のページ設定で、用紙のサイズは A4 サイズが選択されています。白紙の Word のページに〈挿入〉〈画像〉からパソコンに取り込んだ写真のファイル名を指定して挿入します。〈図の形式〉のメニューから、写真のトリミングと画像の明るさやコントラストの調整ができます。右の中央の写真がその結果です。右下側に縦書きテキストボックスを挿入して俳句を書込み、テキストボックスの図のスタイルは”塗りつぶしなし”(透明)で”枠線なし”です。文字はワードアートで白抜き、文字の輪郭線を黒として、文字がくっきりと読み取れます。フォントは楷書体が選択されています。



写真の  
トリミングと  
修整



俳句  
テキスト  
の挿入

